

自転車の事故を未然に防ぐ

自転車点検・交通安全教室やっています

北斗市交通安全推進委員会では、子どもたちが自転車に乗り始める4月に合わせて、市内の小・中学校で自転車点検を行っています。点検は、市内の3つの自転車店(サイクルオートカメラマ・砂田オート・石川自転車商会)の皆さんにご協力いただいています。

そして、警察や交通指導員による

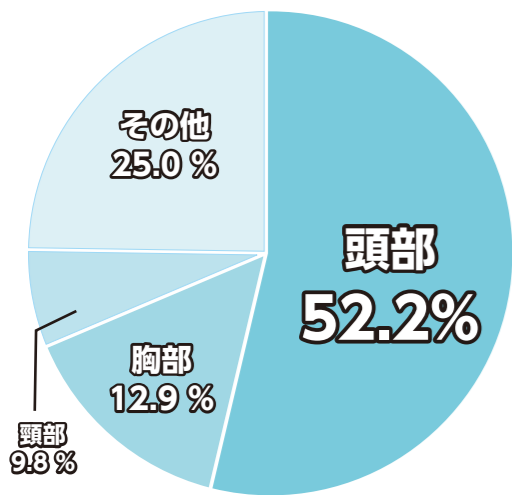
交通安全教室も実施しています。「交通安全のルールを守ることは当たり前。悪いことをすれば注意されるということも、子どもたちにとって大切な学びです。子どもの頃からの積み重ねで、自分の命を守ることが自然に身についてくれることを願っています」と市の担当者は話します。



久根別小学校で開催した交通安全教室の様子。交通ルールを学んでもらうため開催しているこの教室は、自治会や町内会などでも開催しています。交通事故を一件でも減らすために、ぜひ交通安全教室をご活用ください。

自転車乗用中の死者の人身損傷主部位(致命傷の部位)(令和3年~7年合計)

出典：警察庁



命を守るために

ヘルメットをかぶりましょう

すべての自転車利用者のヘルメット着用は努力義務となっています。自転車事故で死亡した人の約52.2%が、頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメットを着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は、約1.7倍高くなっていることが調査からわかっています。

交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることがとても重要です。スポーツのときだけではなく、買い物や通勤・通学等、日常生活で自転車に乗るときもヘルメットを着用して、頭部を保護しましょう。

ヘルメットかぶって安全運転



ルールを守ることは、自分や周りの人を守ることに

4月、北斗交番に新しい所長が着任しました。道南地方での勤務は4回目という土谷所長。「当時から、北斗市は都市と自然が調和したスマートなまちという印象を持っています。妻と一緒に桜を見たり、トラピスト修道院でソフトクリームを食べたりした思い出があります」と、懐かしそうに話してくれます。

着任後は、地域の把握に力を入れており、「警察の仕事の基盤は、管轄区域の実態把握です。北斗市も私が勤務していた当時と変わっている所が多く、今はあちこちを見て回っています。その上で、関係機関や住民の皆さんと力を合わせ、活動に取り組んでいきたいです」と、官民が一体となった警察活動への意欲を語ります。

最後に、「地域住民の皆さんが安心して生活できるよう、函館中央警察署の署員一同、業務に取り組んでまいります。皆さんのご協力をお願いいたします」とメッセージをいただきました。

北斗交番所長の土谷です。最近のマイブームは、サウナです。どうぞよろしくをお願いします！



北斗交番所長 土谷 渉 さん

自転車も反則金

問 総務課交通防災係 内 212~215

道路交通法の一部改正に伴い、16歳以上が運転する自転車に対して4月から、交通反則通告制度(青切符制度)が適用されました。



青切符制度とは、自転車が交通ルールを守らなかったときに、一定期間内に反則金を納めることになる制度です。この時に発行される交通反則通告書がいわゆる『青切符』と呼ばれています。

反則行為の例と反則金額

12,000円	携帯電話使用等(保持)	6,000円	信号無視	5,000円	一時不停止
3,000円	並走	6,000円	車道の右側通行	5,000円	無灯火

絶対ダメ！酒気帯び・妨害運転

上のイラストの他に、酒気帯び運転や妨害運転など特に重大な違反行為は現行の赤切符制度が適用され、刑事手続きとなります。絶対にやめましょう。